

07

もしかするゆりほんじょう ～自然 × 科学 × まちづくり～



最先端の科学や技術を味方につけたら
ゆりほんじょうはどう変わる?

地元をよく知る参加者と、東京大学 生産技術研究所で活躍する研究者が、一緒にまちの未来を考えるワークショップです。

日時：2020年10月12日(月) 12:50～14:20

場所：オンライン開催 (秋田県立大学)

講師：東京大学 生産技術研究所 青木 佳子 助教

ワークショップ進行：渡邊 義弘 学術支援専門職員

主催：東京大学 生産技術研究所

HP：<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/>

参加費：無料

問い合わせ先：科学自然都市協創連合 事務局 nikou@iis.u-tokyo.ac.jp

(HP：https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/inter-regional_network/)



21世紀の科学は、各地の暮らしを支え、豊かな暮らしを実現すると私たちは考えます。地域の特徴と科学技術の可能性の理解を通して、科学は人を幸せにすることができるのか、一緒に考えたいと思います。

Step1：「SDGs めがね」でまちを眺める(事前学習)

「SDGs (Sustainable Development Goals)」という世界の目標を切り口に普段の生活を眺め、新たなまちの魅力や課題を探しましょう。

Step2：最新の研究紹介

生産技術研究所が取り組む最新の研究を紹介します。

講演題目：地域を捉え未来を描く「点からはじまるまちづくり」

Step3：もしかするゆりほんじょう ～科学や技術で、まちは変わる?～
生産技術研究所の知恵を詰め込んだ「道具箱」を使い、ゲームを楽しみながら、未来のまちの姿を考えましょう。



講師プロフィール

東京大学 生産技術研究所 助教。日本女子大学 家政学部、大学院家政学研究科を修了後、2017年9月に東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻にて博士(工学)を取得。建築学視点のまちづくりを専門とし、「生業・文化などその土地の「地域らしさ」を見出すこと」に関心を持つ。所属の川添善行研究室にて、2018年より加太分室地域ラボディレクターとして、漁村である和歌山市加太に常駐。地域研究をしながら住民と協働して地域づくりに取り組む。加太観光[鯛]使。和歌山にて船舶免許を取得。